

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 5年 3月 17日

公表:令和 5年 3月 25日

事業所名 ぬくもり大杉

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○		職員配置とは別に大学生の指導員を配置し、中高生の悩みの相談にのったり、一緒に楽しんだりしている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		玄関の5cmの段差以外は全てバリアフリー。	保護者向けアンケート結果を踏まえ、保護者に周知していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ステップサポート・事業所ホームページにて毎年更新、公開。事業所にも掲示。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		外部評価の実施については法人内での検討を要する。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修を活用し参加。虐待防止の社内研修を実施、継続中。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		子どもと保護者ともに、日頃の会話からニーズをつかむように努めている。	よりきめ細やかな個別・集団を組み合わせた支援計画を作成していく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		誰が見てもわかりやすい改訂版を使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		子どもたちの意見を取り入れながら立案を行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		固定されたプログラムにも内容に変化をつけるなどして、楽しめるよう工夫している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休暇では、日頃体験できないような企画を、早い段階から計画をしている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		時間を決めての集団活動と、個々の活動も楽しめるようにしている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝の申し送りを行っている。行事の打ち合わせは前もって行っている。スタッフのグループLINEも活用している。	学校休業日においては、平日のような細やかな打ち合わせができるよう検討が必要。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	日報の活用。	振り返りにとどまるだけでなく、改善策を要する。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日報の活用。	記録を徹底するよう努める。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		最新の個別支援計画を1冊にまとめ、個々の支援計画を常に意識できるようにしている。毎月の支援会議で話し合いを行っている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		年間・月間予定・下校時刻表をいただき、保護者と学校と事業所で確認を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			現在該当者なし。受け入れが必要な際には体制を整える。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			中学進学と共に同系列の事業所から上がってくる利用者が主なため情報共有は出来ている。他機関との情報共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			保護者の意向を聞き、必要に応じて行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		保護者向けアンケート結果を踏まえ、交流に関して保護者にアンケートを取り、交流を検討する。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			児童部会はないが、区の社会福祉協議会に積極的に参加し、障害福祉部門と関わりをもっている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳や送迎時に伝えている。必要に応じてLINEや電話でも情報共有している。	仕事等でなかなか伝えられていない家庭には、定期的に電話をし、課題について共通理解を深めていく。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		必要なスキルが身につくよう、研修などへの参加支援を行う。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に行っており、保護者から質問などあればその都度対応しているが、面談などでも再度確認していく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			保護者から発信された時だけでなく、こちらからもお声掛けをしていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	R5.3.21にグループホームのセミナーを開催。その後、区役所の福祉避難所訓練に参加。	今までコロナ禍でなかなかできなかったが、保護者のニーズに合わせた内容で、年に2回開催していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		重要事項説明書において説明している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月の通信・ホームページ掲載。活動の様子を写真で撮りLINEで送るなどしている。	写真掲載について細心の注意を払っている。
	35	個人情報に十分注意している	○		個人の名前のあるものは全てシュレッターにかける。書類・パソコンは施錠して保管。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		分かりやすく伝えた上で、意思を尊重するため二択でも良いので選んでもらうようにしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		誰が見てもすぐわかるフローチャート式のマニュアルを作成していく。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	月に一度、その都度問題点を見つげながら実施。避難訓練の様子を通信に載せるなどし、保護者様にも周知している。		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止委員会の発足。社内研修を行うなど努めている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		事例検討を行い、必要な場合は支援計画への記載と説明を行っている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	医師の指示書が必要な子はいない。保護者確認を取っている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 3月 25日

事業所名 **ぬくもり大杉**

保護者等数(児童数) 19名(21名) 回収数 17 割合 89.4%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	16			1	経験や知識が豊富なスタッフの皆様 に感謝しております。	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	2		4	フロアは段差や支障物がないよう配慮されていると思います。	面談の際など保護者様に周知していきたいと思います。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	17					
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	17				本当に色々な工夫がされたプログラムにありがたく思います。	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	7		3		交流に関してのアンケートを取り、どのような形で行えるか検討します。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17					
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17				デイの様子など詳しくお伝えいただいております。	定期的に電話をするなどし、共通理解に努めます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17				面談や講習会など、貴重な機会をいただいております。	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	4	1	2	コロナ禍で難しいかと思いますが、必要なかもいらっしゃると思いますので、開催を願います。	
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	1		1		定期的に電話をするなどし、お話を伺うことで、苦情になるようなことをなくしたいと思います。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17				日々、細やかに配慮いただいております。	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17					
14 個人情報に十分注意しているか	17						
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17					
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17				避難訓練を促していただいております。	連絡帳や通信などで、行った訓練について、保護者の皆様に今後もお伝えしていきます。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	17				友だちと会えるのを楽しみにしています。	今後とも皆に楽しく安全に過ごしてもらえるよう努めていきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	17					